

# 人体解剖学実習

責任者名：高橋 富久

学期：後期

対象学年：2年

授業形式等：実習

## ◆担当教員

高橋 富久(解剖学 I 教授)

二宮 禎(解剖学 I 准教授)

藤原 恭子(解剖学 I 准教授)

大橋 晶子(解剖学 I 助教)

## ◆一般目標 (GIO)

人体を解剖することによって人体の正常構造を理解し、知識として集約する。単に解剖学用語を暗記するのではなく、剖出と観察という作業を繰り返し、3次元的に構築された人体の複雑な構造を目の当たりにし、そこから確かな観察力を修得する。また、ご遺体を通して生命の尊厳、敬意や他人への思いやりを学び、将来、確かな医療人となるため人格を育む。

## ◆到達目標 (SBO s)

- ・解剖学の授業から得た知識を集約できる。
- ・人体諸器官の正常構造について説明できる。
- ・正確な解剖学用語を用いることができる。
- ・歯科医師となるための志をもつことができる。

## ◆評価方法

・全4回の平常試験(50%)と実習点(50%, 課題成果物の評価点を含む)によって評価する。

・第1回平常試験は8月25日(木)、第2回は10月6日(木)、第3回は11月10日(木)、第4回は12月15日(土)に実施する。また、実習点は実習中に行う口頭試問や実習態度および課題学習の成果物が点数として勘案される。各平常試験の範囲についてはシラバスに記載の通り。その他、試験の詳細については各自のNU-MailGのアドレスへメール送信する。平常試験のフィードバック(試験の講評と解説)はメールあるいは動画で配信する。平常試験および定期試験は対面で行ない、平常試験欠席者への追試験は実施しない。

## ◆オフィス・アワー

担当教員	対応時間・場所など	メールアドレス・連絡先	備考
高橋 富久	火曜日 8:00~9:00 解剖学第I講座研究室	takahashi.tomihisa@nihon-u.ac.jp	

## ◆授業の方法

- ・実習は、Aクラス(奇数班)とBクラス(偶数班)に分かれて行う。以下の注意事項を良く読んで実習に臨むこと。なお、班分けについては後日連絡する。
- ・実習日に該当しない班は、在宅での課題学習を行う。課題の内容は、実習日の9:00に配信するので、必ず当日

の期限までに成果物を提出すること。なお、提出方法については後日連絡する。

- ・毎回の実習に臨むにあたって、その内容について説明した解説動画を必ず視聴すること。
- ・自らの体を無報酬・無条件で献体して下さった尊い故人の志に礼を尽くすこと。御遺体に対しては常に感謝し「解剖させていただく」という謙虚な姿勢で実習に臨むこと。
- ・実習は全出席を原則としているため、如何なる理由があろうとも欠席は認めない。各自、健康管理には十分に留意すること。欠席届(病欠)の提出があっても補完実習は行わない。忌引き等の止むを得ない理由で欠席する/した場合は、担当教員に必ず連絡して指示を受けること。
- ・実習中は休憩時間以外の身勝手な休息は認めない。実習中の無用な私語は慎むこと。実習室での標本等の写真撮影(携帯電話や iPad 等による撮影も含む)、飲食物の持ち込みと飲食(ガムや飴)、実習とは関係のない雑誌等の持ち込み、標本等の持ち出しは禁止する。
- ・実習中は白衣(肌の露出を避けるためにも長袖の白衣を推奨する)を着用し、名札を左肩につけること。実習初日にマスク、手袋、帽子を配布する。その他、防護用のメガネ等が必要な者は、各自で用意すること。
- ・日本大学松戸歯学部・歯学部合同の解剖体追悼法要が10月29日(土)、築地本願寺において執り行われるので全員出席すること。集合時間等は追って連絡する。

#### ◆教材(教科書、参考図書、プリント等)

種別	図書名	著者名	出版社名	発行年
教科書	人体解剖学実習指針	日本大学歯学部解剖学第I講座編		2020
参考書	グレイ解剖学原著第4版	Richard L Drake 他	エルゼビア・ジャパン	2019
参考書	グレイ解剖学アトラス原著第2版	Richard L Drake 他	エルゼビア・ジャパン	2015
参考書	ネッター解剖学アトラス原著第6版	Frank H. Netter	南江堂	2016
参考書	プロメテウス解剖学コアアトラス第3版	Anne M. Gilroy	医学書院	2019
参考書	カラー図解人体の正常構造と機能全10巻縮刷版	坂井建雄 他	日本医事新報社	2017
参考書	人体解剖学改訂第42版	藤田恒太郎	南江堂	2003

#### ◆DP・CP

[DP3]コンピテンス:論理的・批判的思考力

コンピテンス:多岐にわたる知識や情報を基に、論理的な思考や批判的な思考ができる。

[DP5]コンピテンス:挑戦力

コンピテンス:新たな課題の解決策を見い出すために、基礎・臨床・社会医学等の知識を基に積極的に挑戦し続け

ることができる。

[CP1] 歯科医学と医療倫理の基礎的知識を修得し、社会人としての品格と医療人になるための自覚を養成する。

[CP3] 幅広い教養と歯科医療に必要な体系的な知識を基に、論理的・批判的思考力と総合的な判断能力を育成する。

[CP4] 歯科医学の基礎知識を体系的に修得し、臨床的な視点で問題を解決する力を養成する。

#### ◆準備学習(予習・復習)

必ず毎回、実習書を良く読んで、剖出と観察すべき項目について十分に理解して実習に臨むこと。特に前期で学んだ事項が観察の中心となるため、前期の授業内容を十分に復習することが大切である。実習後は毎回観察した事項について前期に使用した教科書や参考書等で再度確認し、自身の知識とすること。参考書として指定したアトラスを利用すると効率よく学習できる。

#### ◆準備学習時間

準備学習に記載された事項に必要なだけの時間を充てて予習をすること。

#### ◆全学年を通しての関連教科

神経(2 年前期)

運動器(2 年前期)

脈管・感覚器(2 年前期)

内臓(2 年前期)

組織学(2 年前期)

組織実習(2 年前期)

生理学(2 年前期)

口腔組織学(2 年後期)

発生学(2 年後期)

発生学実習(2 年後期)

口腔生理学(2 年後期)

口腔生理学・口腔生化学実習(2 年後期)

#### ◆予定表

回	クラス	月日	時限	学習項目	学修到達目標	担当	コアカリキュラム		
1	A	8.25	1	【対面】 第 1 回平常試験 採点后、遠隔での 講評と解説を行 う。	実習 1～5 の内容について試験をおこなない、実習前の理解度を確認し、当該実習項目について習熟をはかる。	高橋 富久 二宮 禎 藤原 恭子 大橋 晶子	C-3-1) 身体の部位と方向用語		
	B	8.25	～				C-3-4) 身体を構成する組織と器官		
			3				E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能		
			5				E-2-2) 口腔領域の構造と機		
			～						
			7						

							能
2	A	9.1 9.1	1 ～ 3 5 ～ 7	<p><b>【対面】</b></p> <p>実習 1</p> <p>1. 体表の観察</p> <p>2. 背なかとうなじの皮はぎ</p> <p>3. 背なかの浅筋</p> <p>4. 肩甲骨の背面の筋</p> <p>5. 上腕伸側・前腕側・手背の皮はぎ</p> <p>6. 殿部・大腿屈側・下腿屈側の皮はぎ</p> <p>(教) pp. 1-9</p> <p>実習 2</p> <p>1. 背部の深層</p> <p>2. 肩甲部</p> <p>3. 上腕伸側, 前腕伸側および手背</p> <p>4. 殿部</p> <p>5. 大腿屈側と下腿屈側の浅層筋</p> <p>6. 足底の皮はぎ</p> <p>(教) pp. 11-21</p> <p><b>【遠隔】</b></p> <p>実習 1 と 2 に関連した課題学習 (B クラス)</p>	<p>・体表から観察できるものを説明できる。</p> <p>・神経, 動脈, 静脈およびリンパ管の見分け方について説明できる。</p> <p>・浅背筋の種類と走行および神経支配について説明できる。</p> <p>・上腕伸側, 前腕伸側, 手背に分布する皮静脈, 皮神経の種類について説明できる。</p> <p>・大殿筋の走行と神経支配について説明できる。</p> <p>・大腿屈側と下腿屈側の浅層にみられる筋の種類と走行および神経支配について説明できる。</p> <p>・大腿と下腿の屈側にみられる皮静脈, 皮神経の種類について説明できる。</p> <p>・固有背筋の種類と走行および神経支配について説明できる。</p> <p>・上肢帯から上腕にかけてみられる筋の種類と走行および神経支配について説明できる。</p> <p>・上腕伸側と前腕伸側の浅層にみられる筋の種類と走行および神経支配について説明できる。</p> <p>・上腕と前腕の屈側にみられる皮神経と皮静脈の種類について説明できる。</p> <p>・殿部深層にみられる筋の種類と走行および神経支配について説明できる。</p> <p>・大腿屈側と下腿屈側にみられる浅層筋の種類と走行および神経支配について説明できる。</p> <p>・実習項目に関連した課題を解決し, 自らの知識を発展できる。</p>	高橋 富久 二宮 禎 藤原 恭子 大橋 晶子	C-3-4)身体を構成する組織と器官 E-2-1)頭頸部の基本構造と機能 C-3-1)身体の部位と方向用語
3	B	9.8 9.8	1 ～ 3	<p><b>【対面】</b></p> <p>実習 1</p> <p>1. 体表の観察</p>	<p>・体表から観察できるものを説明できる。</p> <p>・神経, 動脈, 静脈およびリンパ管</p>	高橋 富久 二宮 禎 藤原 恭子	C-3-4)身体を構成する組織と器官

			5 ～ 7	<p>2. 背なかとうなじの皮はぎ</p> <p>3. 背なかの浅筋</p> <p>4. 肩甲骨の背面の筋</p> <p>5. 上腕伸側・前腕側・手背の皮はぎ</p> <p>6. 殿部・大腿屈側・下腿屈側の皮はぎ</p> <p>(教) pp. 1-9</p> <p>実習 2</p> <p>1. 背部の深層</p> <p>2. 肩甲部</p> <p>3. 上腕伸側, 前腕伸側および手背</p> <p>4. 殿部</p> <p>5. 大腿屈側と下腿屈側の浅層筋</p> <p>6. 足底の皮はぎ</p> <p>(教) pp. 11-21</p> <p>【遠隔】</p> <p>実習 1 と 2 に関連した課題学習 (A クラス)</p>	<p>の見分け方について説明できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・浅背筋の種類と走行および神経支配について説明できる。</li> <li>・上腕伸側, 前腕伸側, 手背に分布する皮静脈, 皮神経の種類について説明できる。</li> <li>・大殿筋の走行と神経支配について説明できる。</li> <li>・大腿屈側と下腿屈側の浅層にみられる筋の種類と走行および神経支配について説明できる。</li> <li>・大腿と下腿の屈側にみられる皮静脈, 皮神経の種類について説明できる。</li> <li>・固有背筋の種類と走行および神経支配について説明できる。</li> <li>・上肢帯から上腕にかけてみられる筋の種類と走行および神経支配について説明できる。</li> <li>・上腕伸側と前腕伸側の浅層にみられる筋の種類と走行および神経支配について説明できる。</li> <li>・上腕と前腕の屈側にみられる皮神経と皮静脈の種類について説明できる。</li> <li>・殿部深層にみられる筋の種類と走行および神経支配について説明できる。</li> <li>・大腿屈側と下腿屈側にみられる浅層筋の種類と走行および神経支配について説明できる。</li> </ul> <p>・実習項目に関連した課題を解決し, 自らの知識を発展できる。</p>	大橋 晶子	C-3-1)身体の部位と方向用語 E-2-1)頭頸部の基本構造と機能
4	A	9.15 9.15	1 ～ 3 5 ～ 7	<p>【対面】</p> <p>実習 3</p> <p>1. 顔面の皮はぎ</p> <p>2. 頸部の皮はぎ</p> <p>3. 胸部の皮はぎ</p> <p>4. 腹部の皮はぎ</p> <p>5. 上腕屈側と前腕屈側の皮はぎ</p>	<p>・大まかな表情筋の種類と走行について説明できる</p> <p>・耳下腺と顎下腺の位置と構造および神経支配について説明できる。</p> <p>・顔面の浅層にみられる神経と血管について説明できる。</p> <p>・顎下部から頸部浅層にみられる筋, 神経, 血管について説明でき</p>	高橋 富久 二宮 禎 藤原 恭子 大橋 晶子	C-3-4)身体を構成する組織と器官 C-3-1)身体の部位と方向用語 E-2-1)頭頸部の基本構造と

				<p>6. 大腿前面と下腿前面の皮はぎ (教)pp. 23-36</p> <p>実習 4</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 頸部浅層</li> <li>2. 胸部と腋窩</li> <li>3. 腹壁筋</li> <li>4. 上腕屈側の筋と神経</li> <li>5. 大腿前面と内側部 (教)pp. 35-49</li> </ol> <p>実習 5</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 頸部深層</li> <li>2. 開胸</li> <li>3. 前腕屈側の浅層筋</li> <li>4. 手掌（手のひら）の皮はぎ (教) pp. 51-63</li> </ol> <p>【遠隔】 実習 3～5に関連した課題学習（Bクラス）</p>	<p>る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・胸部と腹部の浅層にみられる皮神経と血管について説明できる。</li> <li>・上腕屈側と前腕屈側の皮静脈と皮神経について説明できる。</li> <li>・頸部浅層から深層にみられる筋の種類と走行および神経支配について説明できる。</li> <li>・頸部浅層から深層にみられる神経と血管の種類と走行について説明できる。</li> <li>・胸部の筋の種類と走行および神経支配について説明できる。</li> <li>・胸部の神経と血管の種類および走行について説明できる。</li> <li>・腹部の筋の種類と走行および神経支配について説明できる。</li> <li>・腹部の神経と血管の種類および走行について説明できる。</li> <li>・上腕屈側と前腕屈側の浅層筋について説明できる。</li> <li>・肩胛靭帯について説明できる。</li> <li>・大腿伸筋と腸腰筋の種類と走行および神経支配について説明できる。</li> <li>・大腿に分布する血管の種類と走行について説明できる。</li> <li>・心膜の種類と分布について説明できる。</li> <li>・壁側胸膜と臓側胸膜の関係について説明できる。</li> <li>・心臓の構造について説明できる。</li> <li>・肺の構造と機能について説明できる。</li> <li>・肺門に出入りする血管と細気管支について説明できる。</li> <li>・手掌腱膜について説明できる。</li> </ul> <p>・実習項目に関連した課題を解決し、自らの知識を発展できる。</p>		機能
5	B	9.22 9.22	1 ～ 3	<p>【対面】 実習 3</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 顔面の皮はぎ</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大まかな表情筋の種類と走行について説明できる</li> <li>・耳下腺と顎下腺の位置と構造および</li> </ul>	高橋 富久 二宮 禎 藤原 恭子	C-3-1)身体の部位と方向用語

		<p>5 2. 頸部の皮はぎ      ~ 3. 胸部の皮はぎ      7 4. 腹部の皮はぎ      5. 上腕屈側と前腕屈側の皮はぎ      6. 大腿前面と下腿前面の皮はぎ      (教)pp. 23-36</p> <p>実習 4</p> <p>1. 頸部浅層      2. 胸部と腋窩      3. 腹壁筋      4. 上腕屈側の筋と神経      5. 大腿前面と内側部      (教)pp. 35-49</p> <p>実習 5</p> <p>1. 頸部深層      2. 開胸      3. 前腕屈側の浅層筋      4. 手掌(手のひら)の皮はぎ      (教) pp. 51-63</p> <p>【遠隔】      実習 3～5 に関連した課題学習 (Aクラス)</p>	<p>び神経支配について説明できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・顔面の浅層にみられる神経と血管について説明できる。</li> <li>・顎下部から頸部浅層にみられる筋, 神経, 血管について説明できる。</li> <li>・胸部と腹部の浅層にみられる皮神経と血管について説明できる。</li> <li>・上腕屈側と前腕屈側の皮静脈と皮神経について説明できる。</li> <li>・頸部浅層から深層にみられる筋の種類と走行および神経支配について説明できる。</li> <li>・頸部浅層から深層にみられる神経と血管の種類と走行について説明できる。</li> <li>・胸部の筋の種類と走行および神経支配について説明できる。</li> <li>・胸部の神経と血管の種類および走行について説明できる。</li> <li>・腹部の筋の種類と走行および神経支配について説明できる。</li> <li>・腹部の神経と血管の種類および走行について説明できる。</li> <li>・上腕屈側と前腕屈側の浅層筋について説明できる。</li> <li>・兎径靭帯について説明できる。</li> <li>・大腿伸筋と腸腰筋の種類と走行および神経支配について説明できる。</li> <li>・大腿に分布する血管の種類と走行について説明できる。</li> <li>・心膜の種類と分布について説明できる。</li> <li>・壁側胸膜と臓側胸膜の関係について説明できる。</li> <li>・心臓の構造について説明できる。</li> <li>・肺の構造と機能について説明できる。</li> <li>・肺門に出入りする血管と細気管支について説明できる。</li> <li>・手掌腱膜について説明できる。</li> </ul> <p>・実習項目に関連した課題を解決</p>	<p>大橋 晶子</p>	<p>C-3-4)身体を構成する組織と器官      E-2-1)頭頸部の基本構造と機能</p>
--	--	--	---	--------------	--

					し、自らの知識を発展できる。		
6	A	9.29 9.29	1 ～ 3 5 ～ 7	<p><b>【対面】</b></p> <p>実習 6</p> <p>1. 顎下部</p> <p>2. 縦隔</p> <p>3. 開腹</p> <p>4. 上肢離断</p> <p>5. 前腕伸側の深層筋 (教) pp. 65-76</p> <p>実習 7</p> <p>1. 顔面の浅層部</p> <p>2. 腹部内臓の取り出し</p> <p>3. 前腕屈側の深層筋</p> <p>4. 足背の皮はぎ</p> <p>5. 下腿伸筋の剖出</p> <p>実習 8</p> <p>1. 咀嚼筋と下顎管</p> <p>2. 後腹壁と横隔膜</p> <p>3. 手の解剖</p> <p>4. 大腿骨の切断</p> <p>5. 腓骨筋群および足背筋</p> <p><b>【遠隔】</b></p> <p>実習 6～8に関連した課題学習 (Bクラス)</p>	<p>・顎下部の構造について説明できる。</p> <p>・縦隔の位置と種類について説明できる。</p> <p>・心臓に出入りする大血管について説明できる。</p> <p>・迷走神経の走行について説明できる。</p> <p>・気管, 気管支, 食道の構造と機能について説明できる。</p> <p>・胃, 小腸, 大腸の構造と機能について説明できる。</p> <p>・胸大動脈と腹大動脈の枝の種類と走行について説明できる。</p> <p>・胸管の位置と走行について説明できる。</p> <p>・肝臓, 膵臓, 脾臓の構造と機能について説明できる。</p> <p>・間膜の種類と分布について説明できる。</p> <p>・固有肝動脈, 門脈, 総肝管, 総胆管の関係について説明できる。</p> <p>・前腕伸側の深層筋について説明できる。</p> <p>・表情筋の種類と走行および神経支配について説明できる。</p> <p>・顔面表層に分布する神経と血管について説明できる。</p> <p>・前腕屈側の深層筋について説明できる。</p> <p>・下腿伸筋について説明できる。</p> <p>・咀嚼筋の種類と分布および神経支配について説明できる。</p> <p>・頬筋の走行について説明できる。</p> <p>・顎動脈とその枝について説明できる。</p> <p>・下顎管を通る神経と血管について説明できる。</p> <p>・腎臓と副腎の構造と機能について説明できる。</p>	高橋 富久 二宮 禎 藤原 恭子 大橋 晶子	C-3-1)身体の部位と方向用語 C-3-4)身体を構成する組織と器官 E-2-1)頭頸部の基本構造と機能 E-2-2)口腔領域の構造と機能



					<ul style="list-style-type: none"> <li>・横隔膜の構造と機能について説明できる。</li> <li>・腸腰筋と腰方形筋について説明できる。</li> <li>・腰神経叢の位置と構成について説明できる。</li> <li>・大まかな手の筋について説明できる。</li> <li>・腓骨筋と足背筋の種類と走行について説明できる。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実習項目に関連した課題を解決し、自らの知識を発展できる。</li> </ul>		
7	A B	10.6	1 ～ 3	<p><b>【対面】</b> 第2回平常試験採点后、遠隔での講評と解説を行う。 なお、当日は、桜歯祭準備のため午後は休講となる。</p> <p>※振替授業を 12/15（土）13：00に実施する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習6～10の内容について試験をおこない、実習前の理解度を確認し、当該実習項目について習熟をはかる。</li> </ul>	高橋 富久 二宮 禎 藤原 恭子 大橋 晶子	C-3-4)身体を構成する組織と器官 E-2-1)頭頸部の基本構造と機能 E-2-2)口腔領域の構造と機能 C-3-1)身体の部位と方向用語
8	B	10.13 10.13	1 ～ 3 5 ～ 7	<p><b>【対面】</b> 実習6</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 顎下部</li> <li>2. 縦隔</li> <li>3. 開腹</li> <li>4. 上肢離断</li> <li>5. 前腕伸側の深層筋 (教) pp. 65-76</li> </ol> <p>実習7</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 顔面の浅層部</li> <li>2. 腹部内臓の取り出し</li> <li>3. 前腕屈側の深層筋</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・顎下部の構造について説明できる。</li> <li>・縦隔の位置と種類について説明できる。</li> <li>・心臓に出入りする大血管について説明できる。</li> <li>・迷走神経の走行について説明できる。</li> <li>・気管、気管支、食道の構造と機能について説明できる。</li> <li>・胃、小腸、大腸の構造と機能について説明できる。</li> <li>・胸大動脈と腹大動脈の枝の種類と走行について説明できる。</li> <li>・胸管の位置と走行について説明できる。</li> </ul>	高橋 富久 二宮 禎 藤原 恭子 大橋 晶子	C-3-4)身体を構成する組織と器官 C-3-1)身体の部位と方向用語 E-2-1)頭頸部の基本構造と機能 E-2-2)口腔領域の構造と機能

				<p>4. 足背の皮はぎ</p> <p>5. 下腿伸筋の剖出</p> <p>実習 8</p> <p>1. 咀嚼筋と下顎管</p> <p>2. 後腹壁と横隔膜</p> <p>3. 手の解剖</p> <p>4. 大腿骨の切断</p> <p>5. 腓骨筋群および足背筋</p> <p>【遠隔】</p> <p>実習 6～8に関連した課題学習 (Aクラス)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 肝臓, 膵臓, 脾臓の構造と機能について説明できる。</li> <li>・ 間膜の種類と分布について説明できる。</li> <li>・ 固有肝動脈, 門脈, 総肝管, 総胆管の関係について説明できる。</li> <li>・ 前腕伸側の深層筋について説明できる。</li> <li>・ 表情筋の種類と走行および神経支配について説明できる。</li> <li>・ 顔面表層に分布する神経と血管について説明できる。</li> <li>・ 前腕屈側の深層筋について説明できる。</li> <li>・ 下腿伸筋について説明できる。</li> <li>・ 咀嚼筋の種類と分布および神経支配について説明できる。</li> <li>・ 頬筋の走行について説明できる。</li> <li>・ 顎動脈とその枝について説明できる。</li> <li>・ 下顎管を通る神経と血管について説明できる。</li> <li>・ 腎臓と副腎の構造と機能について説明できる。</li> <li>・ 横隔膜の構造と機能について説明できる。</li> <li>・ 腸腰筋と腰方形筋について説明できる。</li> <li>・ 腰神経叢の位置と構成について説明できる。</li> <li>・ 大まかな手の筋について説明できる。</li> <li>・ 腓骨筋と足背筋の種類と走行について説明できる。</li>   <li>・ 実習項目に関連した課題を解決し, 自らの知識を発展できる。</li> </ul>		
9	A	10.20 10.20	1 ～ 3 5	<p>【対面】</p> <p>実習 9</p> <p>1. 頭部の切り離し (1)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 脊髄管内側にみられる靭帯の種類と分布について説明できる。</li> <li>・ 脳神経について説明できる。</li> <li>・ 下垂体について説明できる。</li> </ul>	高橋 富久 二宮 禎 藤原 恭子 大橋 晶子	C-3-1)身体の部位と方向用語 C-3-4)身体を

			<p>～ 7</p> <p>2. 脳出しと頭蓋の内面 3. 脳の観察 4. 上肢の関節 5. 下腿屈側の深層筋</p> <p>実習10 1. 脳の観察 2. 脊髄の取り出し 3. 下半身の切り離し</p> <p>【遠隔】 実習9, 10に関連した課題学習 (Bクラス)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大脳半球の構造と機能局在について説明できる。</li> <li>・ 間脳の位置と区分および機能について説明できる。</li> <li>・ 脳幹 (中脳, 橋, 延髄) の位置と構造および機能について説明できる。</li> <li>・ 脳硬膜, 脳クモ膜, 脳軟膜の種類と分布について説明できる。</li> <li>・ 脳室の種類と構造について説明できる。</li> <li>・ 脳脊髄液の流路について説明できる。</li> <li>・ 脳に分布する動脈と静脈の種類と分布について説明できる。</li> <li>・ 硬膜静脈洞の種類と連絡について説明できる。</li> <li>・ 脊髄硬膜, 脊髄クモ膜, 脊髄軟膜および歯状靭帯について説明できる。</li> <li>・ 脊髄神経節について説明できる。</li> <li>・ 肩の関節について説明できる。</li> <li>・ 肘関節について説明できる。</li> </ul> <p>・ 実習項目に関連した課題を解決し, 自らの知識を発展できる。</p>	<p>構成する組織と器官 E-2-1)頭頸部の基本構造と機能</p>	
10	B	10.27 10.27	<p>1 【対面】 実習9</p> <p>3 1. 頭部の切り離し (1) 5 2. 脳出しと頭蓋の内面 7 3. 脳の観察 4. 上肢の関節 5. 下腿屈側の深層筋</p> <p>実習10 1. 脳の観察 2. 脊髄の取り出し 3. 下半身の切り</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 脊髄管内側にみられる靭帯の種類と分布について説明できる。</li> <li>・ 脳神経について説明できる。</li> <li>・ 下垂体について説明できる。</li> <li>・ 大脳半球の構造と機能局在について説明できる。</li> <li>・ 間脳の位置と区分および機能について説明できる。</li> <li>・ 脳幹 (中脳, 橋, 延髄) の位置と構造および機能について説明できる。</li> <li>・ 脳硬膜, 脳クモ膜, 脳軟膜の種類と分布について説明できる。</li> <li>・ 脳室の種類と構造について説明できる。</li> <li>・ 脳脊髄液の流路について説明でき</li> </ul>	<p>高橋 富久 二宮 禎 藤原 恭子 大橋 晶子</p>	<p>C-3-1)身体の部位と方向用語 C-3-4)身体を構成する組織と器官 E-2-1)頭頸部の基本構造と機能</p>

				<p>離し</p> <p>【遠隔】 実習9, 10に関連した課題学習 (Aクラス)</p>	<p>る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・脳に分布する動脈と静脈の種類と分布について説明できる。</li> <li>・硬膜静脈洞の種類と連絡について説明できる。</li> <li>・脊髄硬膜, 脊髄クモ膜, 脊髄軟膜および歯状靭帯について説明できる。</li> <li>・脊髄神経節について説明できる。</li> <li>・肩の関節について説明できる。</li> <li>・肘関節について説明できる。</li> </ul> <p>・実習項目に関連した課題を解決し, 自らの知識を発展できる。</p>		
11	A B	11.10 11.10	1 ～ 3 5 ～ 7	<p>【対面】 第3回平常試験採点后, 遠隔での講評と解説を行う。</p>	<p>・実習11～13の内容について試験をおこない, 実習前の理解度を確認し, 当該実習項目について習熟をはかる。</p>	高橋 富久 二宮 禎 藤原 恭子 大橋 晶子	<p>C-3-1)身体の部位と方向用語</p> <p>C-3-4)身体を構成する組織と器官</p> <p>E-2-1)頭頸部の基本構造と機能</p> <p>E-2-2)口腔領域の構造と機能</p>
12	A	11.17 11.17	1 ～ 3 5 ～ 7	<p>【対面】 実習11</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 奇静脈, 最上肋間動脈, 交感神経幹および横隔神経の切断</li> <li>2. 頭部の切り離し(2)</li> <li>3. 咽頭と喉頭</li> <li>4. 頭の切半と口腔</li> </ol> <p>実習12</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 顎関節, 側頭下窩および下顎骨</li> </ol>	<p>・奇静脈系と交感神経幹の種類と連絡について説明できる。</p> <p>・咽頭の構造と機能および神経支配について説明できる。</p> <p>・喉頭の構造と機能および神経支配について説明できる。</p> <p>・咽頭と喉頭の栄養血管について説明できる。</p> <p>・口腔の構造と機能について説明できる。</p> <p>・舌の構造と神経支配および栄養血管について説明できる。</p> <p>・鼻腔の構造と神経支配および血管の分布について説明できる。</p> <p>・内舌筋と外舌筋の種類と神経支配</p>	高橋 富久 二宮 禎 藤原 恭子 大橋 晶子	<p>C-3-1)身体の部位と方向用語</p> <p>C-3-4)身体を構成する組織と器官</p> <p>E-2-1)頭頸部の基本構造と機能</p> <p>E-2-2)口腔領域の構造と機能</p>

			<p>の取り除き</p> <p>2. 舌と口蓋</p> <p>3. 鼻腔の側壁, 副鼻腔および翼口蓋神経節</p> <p>4. 翼突管を開く</p> <p>5. 舌下神経管を開く</p> <p>6. 頸静脈孔を開く</p> <p>7. 膝の関節</p> <p>【遠隔】</p> <p>実習11と12に関連した課題学習 (Bクラス)</p>	<p>について説明できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・口蓋の構造と神経支配および血管の分布について説明できる。</li> <li>・翼口蓋神経節のその枝について説明できる。</li> <li>・翼突管の位置とそこを通る神経と血管について説明できる。</li> <li>・舌下神経管の位置と走行について説明できる。</li> <li>・頸静脈孔の構造とそこを通る神経と血管について説明できる。</li> <li>・膝関節の構造について説明できる。</li> </ul> <p>・実習項目に関連した課題を解決し, 自らの知識を発展できる。</p>		
13	B	11.24 11.24	<p>1 【対面】</p> <p>実習11</p> <p>3 1. 奇静脈, 最上</p> <p>5 肋間動脈, 交感神</p> <p>7 経幹および横隔神</p> <p>7 経の切断</p> <p>2. 頭部の切り離し(2)</p> <p>3. 咽頭と喉頭</p> <p>4. 頭の切半と口腔</p> <p>実習12</p> <p>1. 顎関節, 側頭下窩および下顎骨の取り除き</p> <p>2. 舌と口蓋</p> <p>3. 鼻腔の側壁, 副鼻腔および翼口蓋神経節</p> <p>4. 翼突管を開く</p> <p>5. 舌下神経管を開く</p> <p>6. 頸静脈孔を開く</p> <p>7. 膝の関節</p>	<p>・奇静脈系と交感神経幹の種類と連絡について説明できる。</p> <p>・咽頭の構造と機能および神経支配について説明できる。</p> <p>・喉頭の構造と機能および神経支配について説明できる。</p> <p>・咽頭と喉頭の栄養血管について説明できる。</p> <p>・口腔の構造と機能について説明できる。</p> <p>・舌の構造と神経支配および栄養血管について説明できる。</p> <p>・鼻腔の構造と神経支配および血管の分布について説明できる。</p> <p>・内舌筋と外舌筋の種類と神経支配について説明できる。</p> <p>・口蓋の構造と神経支配および血管の分布について説明できる。</p> <p>・翼口蓋神経節のその枝について説明できる。</p> <p>・翼突管の位置とそこを通る神経と血管について説明できる。</p> <p>・舌下神経管の位置と走行について説明できる。</p> <p>・頸静脈孔の構造とそこを通る神経と血管について説明できる。</p>	<p>高橋 富久</p> <p>二宮 禎</p> <p>藤原 恭子</p> <p>大橋 晶子</p>	<p>C-3-1)身体の部位と方向用語</p> <p>C-3-4)身体を構成する組織と器官</p> <p>E-2-1)頭頸部の基本構造と機能</p> <p>E-2-2)口腔領域の構造と機能</p>

				<p>【遠隔】 実習11と12に関連した課題学習 (Aクラス)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・膝関節の構造について説明できる。</li> <li>・実習項目に関連した課題を解決し、自らの知識を発展できる。</li> </ul>		
14	A	12.1 12.1	1 ～ 3 5 ～ 7	<p>【対面】 実習13 1. 平衡聴覚器 2. 眼窩の内容 納棺</p> <p>【遠隔】 実習13に関連した課題学習 (Bクラス)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外耳, 中耳, 内耳の構造について説明できる。</li> <li>・鼓索神経の走行と機能について説明できる。</li> <li>・眼窩の構成について説明できる。</li> <li>・眼球の構造と神経支配および栄養血管について説明できる。</li> <li>・涙腺の構造と神経支配について説明できる。</li> <li>・毛様体神経節について説明できる。</li> <li>・副眼器の種類と機能について説明できる。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実習項目に関連した課題を解決し、自らの知識を発展できる。</li> </ul>	高橋 富久 二宮 禎 藤原 恭子 大橋 晶子	C-3-4)身体を構成する組織と器官 C-3-1)身体の部位と方向用語 E-2-1)頭頸部の基本構造と機能 E-2-2)口腔領域の構造と機能
15	B	12.8 12.8	1 ～ 3 5 ～ 7	<p>【対面】 実習13 1. 平衡聴覚器 2. 眼窩の内容 納棺</p> <p>【遠隔】 実習13に関連した課題学習 (Aクラス)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外耳, 中耳, 内耳の構造について説明できる。</li> <li>・鼓索神経の走行と機能について説明できる。</li> <li>・眼窩の構成について説明できる。</li> <li>・眼球の構造と神経支配および栄養血管について説明できる。</li> <li>・涙腺の構造と神経支配について説明できる。</li> <li>・毛様体神経節について説明できる。</li> <li>・副眼器の種類と機能について説明できる。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実習項目に関連した課題を解決し、自らの知識を発展できる。</li> </ul>	高橋 富久 二宮 禎 藤原 恭子 大橋 晶子	C-3-4)身体を構成する組織と器官 C-3-1)身体の部位と方向用語 E-2-1)頭頸部の基本構造と機能 E-2-2)口腔領域の構造と機能
	A B	12.15	5 ～ 7	<p>【対面】 第4回平常試験 採点后、遠隔での</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習1～13の内容について、平常試験行う。</li> </ul>		

			講評と解説を行 う。			
--	--	--	---------------	--	--	--

